

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。（連絡先：虎ノ門事務室〔メールまたは電話〕）
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
知的財産要論		Z 109	1 単位	1 学期	ハイフレックス
Essentials of Intellectual Property					
科 目 分 野		課 程 領 域			
知的財産経営		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
栗原 潔	-	メールアポイントにて随時			

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
ビジネス法務特論	知的財産マネジメント要論	

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

知的財産の入門として、「知的財産管理技能検定3級レベル」の内容を取り扱う。
 著作権・商標・意匠・特許・その他の知的財産に関する法律(不正競争法や独占禁止法など)・条約に関して、
 知的財産の基礎を理解し修得する。
 なお、企業において遭遇する具体的な事例をベースとした、問題発見能力と基本的な解決能力の修得を目指した内容も扱う。

(構成予定)

1. イントロダクション、知的財産権総論、特許法
2. 意匠法、商標法
3. 著作権法、不正競争防止法
4. その他知的財産に関する法律(不競法、独禁法など)、総括
最終プレゼンテーションは、受講生人数を見て構成を改訂する場合がある。

到達（修得）目標

知的財産の基礎を理解し、知的財産管理技能検定3級レベルの知識を修得できる。

受講対象者

知財入門として、初めて学ぶ方。

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

・他の知財系科目を履修する際に、事前に履修いただく前提科目です。
 (知的財産管理技能検定3級レベルの知識を有している方は、他の知財系科目を本科目を介さず履修できます)
 ・クラスには積極的な参加を推奨します。疑問点など含め、クラスにて積極的に発言・質問してください。
 状況に応じて抜き打ちテストを行なう可能性もあります。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コ ン ピ テ ン シ 修 得 目 標

知識領域（Y軸）		ヒューマンパワー（Z軸）		思考プロセス（X軸）	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力		X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力		X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	最終回プレゼンテーション (簡易なテストに置き換える場合がある)	プレゼンテーション、もしくは、テスト	

評 価 の 方 法

(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
受講態度・クラス貢献	30%	毎回、事務室より出席簿を準備する。クラス貢献では、クラス内での積極的且つ的確な質疑応答に対しその内容を評価する。プレゼンテーション及びテストでは、これまでの授業内容の理解度を確認する。
プレゼンテーション・テスト	70%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備 考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	知的財産管理技能検定3級テキスト(アップロード社) その他、各回で資料を配布予定	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『標準特許法』高林龍(有斐閣) →重要ポイントがコンパクトにまとまっている 『著作権法入門』島並良他(有斐閣) →重要ポイントがコンパクトにまとまっている 『著作権とは何か』福井健策(集英社新書) →読み物として普通におもしろいのでお勧めです 『著作権の世紀』福井健策(集英社新書) →読み物として普通におもしろいのでお勧めです CNET Japan ウェブ記事「特集：18歳からの著作権入門」 (http://japan.cnet.com/sp/copyright_study/) 『オープンビジネス・モデル』ヘンリーチェスブロー(翔泳社) →オープンイノベーションの話、興味のある方は是非ご一読下さい	
参 考 U R L		
特許庁: http://www.jpo.go.jp/ 特許電子図書館: http://www.inpit.go.jp/ 特許庁への出願書類や審査結果のデータベース 法令データ提供システム(イーガブ) http://law.e-gov.go.jp/ オンラインの法文集 Google Patent: http://www.google.com/patents 米国特許庁の特許・意匠関連情報のデータベース パテントサロン: http://www.patentsalon.com/ 知財関連ニュースのポータル その他、適宜紹介予定		

コマ	学 習 内 容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	イントロダクション 知的財産権総論 特許法(1)	学習内容の予習	栗原	180分
	特許法(2)	学習内容の予習		
	イベント			
3.4	特許法(3) 意匠法(1) 商標法(1)	学習内容の予習	栗原	180分
	商標法(2) 著作権法(1)	学習内容の予習		
	イベント			
5.6	著作権法(2)	学習内容の予習	栗原	180分
	著作権法(3) 不正競争防止法	学習内容の予習		
	イベント			
7.8	その他 今日的トピック (オープン・イノベーション、ネットと知的財産権、判例紹介)	学習内容の予習	栗原	180分
	総括 ロールプレイによるプレゼンテーション、もしくはテストを予定 (履修人数やクラスの流れを受けて判断予定)	学習内容の予習		
	イベント			

2026.01

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。